

対日理解促進交流プログラム (Japan's Friendship Ties programs)

令和4年度

目的

- 諸外国・地域の優秀な青年を対象に、日本に対する関心と理解を向上させ、また、プログラム経験をいかした活動をしてもらうことで、**親日派・知日派を発掘・育成し、外交基盤を拡充**する。
- 参加者の専門性、関心分野に沿って、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に対する**対日理解を促進**し、参加者からの**対外発信の強化**を図る。

概要

【地域別名称（対象地域）】 JENESYS2022（アジア大洋州）
カケハシ・プロジェクト（北米）
MIRAI（欧州）
Juntos!!（中南米）

【事業】（1）招へい・派遣（2）オンライン交流（3）フォローアップ

【対象者】 招へい：高校生～社会人等、派遣：高校生～大学院生

【期間】 招へい・派遣：10日間程度（オンライン・オフラインによるハイブリッド形態）

【規模】 約16.9億円、約2,700人（令和4年度当初予算）

【実績】 平成27年度から開始。過去7年間の招へい・派遣に約32,000名が参加。



事業の実施形態

日本政府（事業方針に沿って推進）
（拠出金支出）

国際機関等（事業の実施団体を選定・委託）
（拠出金管理）

実施団体等
（プログラムの企画・実施）

（参考）国際機関等：ASEAN事務局、SAARC事務局等、合計11機関